

A 故事の筋道を読む

全8問 | 目安 15分 | 練習用 資料

資料1～4を読み、字句・出来事・たとえを確かめます。

矛盾（むじゅん）

原文の抜粋 以子之矛陷子之楯、何如。

出典 『韓非子』 難一

前後の説明 楚の商人が、どんな物も通さない楯と、どんな物でも突き通す矛を売っていた。聞き手が「あなたの矛で、あなたの楯を突いたらどうなるか」と質問すると、商人は答えられなかった。この話は、同時には成り立たない二つの主張を示すために使われている。

語注 子＝あなた。陷＝突き通す。楯＝盾。何如＝どうであるか。

今の意味 二つの内容のつじつまが合わないこと。

蛇足（だそく）

原文の抜粋 蛇固無足。

出典 『戦国策』 齊策二「昭陽為楚伐魏」

前後の説明 複数の人が、最初に蛇の絵を描き終えた一人だけが酒を飲めることにした。最初の人は完成後に足を描き足し始めた。その間に別の人が蛇を描き終え、「蛇にはもともと足がない」と言って酒を飲んだ。原典では、十分な戦功を挙げてもさらに攻めようとする将軍を止めるたとえとして語られる。

語注 固＝もともと。足＝あし。

今の意味 なくてもよい余計な付け足し。

A 故事の筋道を読む

全8問 | 目安 15分 | 練習用 資料つづき

守株（しゅしゅ）

原文の抜粋 因釈其耒而守株、冀復得兔。

出典 『韓非子』 五蠹

前後の説明 宋の農夫の畑で、走ってきた兎が切り株にぶつかり、首を折って死んだ。農夫は農具を置いて切り株を見張り、また兎が手に入るのを待ったが、二度と得られなかった。原典は、昔の政治のやり方をそのまま今の人々に当てはめることを、この農夫にたとえている。

語注 釈＝置く。耒＝農具。株＝切り株。冀＝願う。復＝再び。兔＝兎。

今の意味 古いやり方や偶然の成功にこだわり、変化に応じられないこと。

五十歩百歩（ごじっぽひゃっぽ）

原文の抜粋 直不百歩耳、是亦走也。

出典 『孟子』 梁恵王上 第3章

前後の説明 梁の恵王は、自分は隣国の君主より人民に気を配っているのに、人口が増えないと孟子に尋ねた。孟子は、戦場から五十歩逃げた者が、百歩逃げた者を笑ってよいかと問う。王は、百歩でないだけで、こちら逃げたことには変わらないと答えた。孟子はこの答えを王の政治に結び付けた。

語注 直＝ただ。耳＝だけ。是＝これ。亦＝また。走＝ここでは逃げる。

今の意味 程度の差はあっても、本質的には同じこと。

A 故事の筋道を読む

名前 _____

全8問 | 目安 15分 | 練習用

資料1～4を読み、字句・出来事・たとえを確かめます。

資料は問題1～2ページ。記述は根拠も確かめます。

問1 資料「矛盾」の原文の「子」は誰を指しますか。

問2 資料「矛盾」で、商人が答えられなかった理由を、二つの売り文句の関係から説明しなさい。

問3 資料「蛇足」の「蛇固無足」の意味として適切なものを一つ選びなさい。

- ア 蛇の足は固い。
- イ 蛇にはもともと足がない。
- ウ 蛇の足が足りない。
- エ 蛇は足を隠している。

問4 最初に蛇を描き終えた人が酒を飲めなかったのはなぜですか。「完成」「付け足し」を使って説明しなさい。

A 故事の筋道を読む

名前

全8問 | 目安 15分 | 練習用 つづき

資料は問題1～2ページ。記述は根拠も確かめます。

問5 資料「守株」の「株」は何ですか。一つ選びなさい。

- ア 会社の株式
- イ 収穫した野菜
- ウ 木の切り株
- エ 農具の名前

問6 資料「守株」は、政治のどのようなやり方を批判するためのたとえですか。

問7 資料「五十歩百歩」の「走」は、この場面でどのような動作を表しますか。

問8 五十歩逃げた人は、百歩逃げた人より逃げた距離が短いのに、なぜ相手を笑えないのですか。

B 原文から意味を捉える

全8問 | 目安 20分 | 練習用 資料

資料5～8を読み、人物の見方と現在の意味をつなげます。

漁夫の利（ぎょふのり）

原文の抜粋 両者不肯相舎、漁者得而並禽之。

出典 『戦国策』 燕策二「趙且伐燕」

前後の説明 鷸という鳥が貝の肉をつつくと、貝が殻を閉じて鳥のくちばしを挟んだ。両者が譲らず争っている間に、漁師が両方を捕らえた。蘇代は、趙と燕が戦って疲れば、強い秦が漁師のように利益を得ると、趙の王に忠告した。王は戦いをやめた。

語注 鷸＝しぎ。舎＝放す。禽＝捕らえる。之＝鳥と貝。

今の意味 二者の争いにつけこんで、第三者が利益を得ること。

杞憂（きゆう）

原文の抜粋 杞国有人憂天地崩墜、身亡所寄、廢寢食者。

出典 『列子』 天瑞篇

前後の説明 杞の国に、天や地が崩れて身の置き所がなくなると心配し、眠ることも食べることもやめた人がいた。別の人の説明を聞くと安心した。原典はその後、天と地が壊れるかどうかをめぐる別の議論へ続く。この教材では故事成語の由来となる冒頭に注目する。

語注 杞＝国名。崩墜＝崩れ落ちる。亡＝ここでは「無」と同じ。

今の意味 心配しなくてもよいことを、あれこれ心配すること。

B 原文から意味を捉える

全8問 | 目安 20分 | 練習用 資料つづき

朝三暮四（ちょうさんぼし）

原文の抜粋 朝三而暮四。朝四而暮三。

出典 『列子』 黄帝篇

前後の説明 猿を飼う人が、木の実を朝三つ・夕方四つにすると告げると、猿は怒った。朝四つ・夕方三つに言い換えると、猿は喜んだ。一日の合計は同じ七つだった。この話から、目先の差にとらわれて同じ結果に気づかないことや、うまい言葉で相手を欺くことを表す。

語注 朝＝あさ。暮＝夕方。この抜粋は二つの発言の一部を並べたもの。

今の意味 目先の差にとらわれ同じ結果に気づかないこと。また、言葉巧みに欺くこと。

温故知新（おんこちしん）

原文の抜粋 温故而知新。

出典 『論語』 為政第二 2・11

前後の説明 『論語』は孔子や弟子たちの言行を記す書物である。孔子は、以前に学んだことを学び直して新しい理解を得れば、人の師となることができる、と述べた。この言葉は、古いことをただそのまま守るという意味ではない。

語注 温＝ここでは学び直す。故＝以前に学んだこと。新＝新しい理解。

今の意味 以前に学んだことや昔の事柄を学び直し、新しい知識や理解を得ること。

B 原文から意味を捉える

名前

全8問 | 目安 20分 | 練習用

資料5～8を読み、人物の見方と現在の意味をつなげます。
資料は問題5～6ページ。記述は根拠も確かめます。

問1 資料「漁夫の利」で、争う鳥と貝に当たる二つの国と、漁師に当たる国を答えなさい。

問2 資料「漁夫の利」の原文「之」は何を指しますか。

問3 「杞憂」の故事で、杞の人は何を心配していましたか。

問4 危険を示す具体的な情報があり、災害に備えることまで「杞憂」と決めつけてよいですか。理由とともに答えなさい。

B 原文から意味を捉える

名前

全8問 | 目安 20分 | 練習用 つづき

資料は問題5～6ページ。記述は根拠も確かめます。

問5 資料「朝三暮四」で、一日の木の実の合計は変更前と変更後でそれぞれいくつですか。猿が見落とした点も書きなさい。

問6 猿を飼う人の側から見た「朝三暮四」の意味を、資料を基に説明しなさい。

問7 「温故知新」の読みを平仮名で書きなさい。

問8 「温故知新」が、古いことをただ守るのとは違うと分かる原文中の二字を抜き出しなさい。

C 今の場面に当てはめる

名前 _____

全8問 | 目安 25分 | 練習用

A・Bの資料を必要に応じて見返し、使い方の根拠を説明します。

A・Bの資料を参照してかまいません。記述は根拠も確かめます。

問1 故事成語の説明として適切なものを一つ選びなさい。

ア 漢字四字の言葉は全て故事成語である。

イ 今作った短い合言葉は全て故事成語である。

ウ 古い出来事や書物の言葉に由来する、まとまった意味をもつ表現である。

エ 必ず実際に起きたと証明された事件から生まれる。

問2 次のうち、「矛盾」といえる組合せを一つ選びなさい。全て同じ人の発言です。

ア 「今日の正午、その教室には誰もいなかった」 「今日の正午、私はその教室に一人でいた」

イ 「昨日は雨だった」 「今日は晴れた」

ウ 「去年は泳げなかった」 「今年は泳げる」

エ 「理科が好きだ」 「国語も好きだ」

問3 発表が要点を押さえて終わった後、結論と無関係の長い話を加えたため、聞き手が混乱しました。この付け足しに最も合う故事成語を答えなさい。

問4 過去の解き方を調べて新しい問題に合うよう工夫する人と、条件が変わっても以前の解き方しか使わない人に、それぞれ「温故知新」「守株」のどちらが合いますか。理由も答えなさい。

C 今の場面に当てはめる

名前 _____

全8問 | 目安 25分 | 練習用 つづき

A・Bの資料を参照してかまいません。記述は根拠も確かめます。

問5 「五十歩百歩」を使うときの説明として適切なものを一つ選びなさい。

ア 数量も性質も完全に一致していなければ使えない。

イ 程度の違いはあるが、問題にしている本質は同じだというときに使う。

ウ 五十点と百点の差はどんな場面でも無意味だということ。

エ 少しでも優れている人を褒めるときに使う。

問6 二つの店が互いの悪口を広告に載せ合い、両店とも信用を失いました。その間に、争いに加わらない第三の店に客が集まりました。この第三の店の利益に合う故事成語と、その理由を書きなさい。**問7** 「根拠なく発表が中止になると心配していたが、予定どおり行われ、心配は杞憂に終わった。」の「杞憂に終わった」を、分かりやすく言い換えなさい。**問8** 「一日分のごほうびが、朝三枚・夕方四枚から朝四枚・夕方三枚になった。合計が増えたと思って喜んだ。」が「朝三暮四」に通じる理由を説明しなさい。

D 定期テスト対策

名前 _____

全8問 | 目安 25分 | 100点

8問・100点。A・Bの資料を参照してかまいません。

A・Bの資料を参照してかまいません。記述は根拠も確かめます。

問1〔10点〕 次の読みを平仮名で書きなさい。①矛盾 ②蛇足

問2〔10点〕 「故事成語は必ず漢字四字である」という説明を、具体例を一つ挙げて訂正しなさい。

問3〔10点〕 資料「五十歩百歩」の「是亦走也」が、逃げた距離より重視している共通点を答えなさい。

問4〔10点〕 学級新聞の二つの係が掲載場所を争い、どちらも締切に遅れたため、別の係の記事が大きく掲載されました。別の係の得た利益に合う故事成語を答えなさい。

問5〔10点〕 「去年一度だけ成功した方法を、条件の違う今年も変えずに繰り返した。」に最も合う故事成語を一つ選びなさい。

ア 温故知新

イ 杞憂

ウ 守株

エ 蛇足

D 定期テスト対策

名前

全8問 | 目安 25分 | 100点 つづき

A・Bの資料を参照してかまいません。記述は根拠も確かめます。

問6〔15点〕 「矛盾」の商人が、矛と楯をその場で試しても二つの売り文句を同時に証明できない理由を、「突き通せた場合」と「突き通せなかった場合」に分けて説明しなさい。

問7〔15点〕 資料「温故知新」と「守株」はどちらも過去に関係しますが、過去の扱い方はどう違いますか。両方の語を使って説明しなさい。

問8〔20点〕 「木の実を朝三つ・夕方四つから、朝四つ・夕方三つに変える話」を読み、「朝に食べる量が少ないのを嫌うのは愚かだ」とまとめた人がいます。このまとめの問題点を示し、故事が注目する点を説明しなさい。

得点

／100点

解き直した日

月

日